

基本課題2 あらゆる暴力の根絶(課題4～6)

課題4 セクシャル・ハラスメント防止対策の推進

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	評価	問題点、課題等	審議会の意見
11	市民に対するセクシャル・ハラスメント防止に向けた啓発	広報・啓発活動	地域振興課 学校教育課	広報紙の中でセクシャル・ハラスメントに関するコラムを掲載したり、意識啓発を図る。 広報さんじょう一年1回	・広報さんじょう「男女共同参画トピックス」11/16号に掲載し啓発を図った。 ・コミュニティFM11/9放送で、啓発を図った。	A	来年度以降も特集記事を載せたり、市民向けの行動パンフレットを配布して充実を図りたい。	
12	事業所に対するセクシャル・ハラスメント防止に向けた啓発	広報・啓発活動	商工課	セクシャル・ハラスメント防止について、地域振興課と連携してコミュニティFMで啓発する。 コミュニティFM一年1回	市民及び事業向けの啓発として同上により啓発した。 【計画変更】対象:事業主 時期:11月17日 財)21世紀職業財団新潟事務所と共催で開催した「はつらつ職場支援セミナー」の中で啓発した。受講者22名	A		

課題5 ドメスティック・バイオレンスの防止に向けた意識啓発及び保護体制の整備

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	評価	問題点、課題等	審議会の意見
13	ドメスティック・バイオレンスの防止に向けた啓発	広報・啓発活動	地域振興課	広報紙の中でドメスティック・バイオレンスに関するコラムを掲載し、意識啓発を図る。 広報さんじょう一年1回	・広報さんじょう「男女共同参画トピックス」11/16号に掲載し啓発を図った。 ・コミュニティFM11/9放送で、啓発を図った。	A	来年度以降も特集記事を載せたり、市民向けの行動パンフレットを配布して充実を図りたい。	
			社会福祉課	ドメスティック・バイオレンス防止、相談案内等の県が作成したカードを設置し啓発を図る。	県から配布されているドメスティック・バイオレンスに関する相談の連絡先の入ったカードを庁舎内や公共施設の女子トイレに設置し啓発を図った。また、栄・下田地区の保育所にカードを設置してもらい、啓発をしたところ、具体的な相談が2件あった。	A		次年度は設置した場所、枚数を管理し、評価が出来るようにした方が良い。
14	シェルター設置に向けたネットワークづくりの検討と県への働きかけ	中越地区シェルター設置についての県への働きかけ	地域振興課	主管課長会議において、中越地区のシェルターの設置について、県に引き続き要望する。	6/12主管課長会議において、中越地区のシェルターの設置について、県に引き続き要望した。 【県の回答】 中越地区のある施設(市民団体が運営)に依頼したが、契約できなかった。現在、別の中越地区の団体と交渉中である。	A	毎年、設置状況を確認していく。	
		民間シェルター設置や他市の情報・事例収集	社会福祉課	実務担当者連絡会議等の場において、民間シェルターを設置している県内他市の事例を積極的に収集、情報交換をする。	7月開催の配偶者暴力防止実務担当者会議で、中越地区の一時保護所の設置について県の担当者から話があった。また、12月にDV被害者支援の民間団体の事例を聞く講座に参加し、情報収集した。	A		

## 課題6 相談体制の充実

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	評価	問題点、課題等	審議会の意見
15	女性相談の充実	広報・啓発活動	社会福祉課	広報紙に女性相談について掲載し、啓発を図る。 広報さんじょう一年1回	男女共同参画担当と連携して、広報さんじょう11/16号で相談窓口の記事を掲載し、啓発を図った。	A	来年度以降も特集記事を載せて啓発を図りたい。	
16	市民相談の充実	市民相談の充実	市民課	現在行っている相談業務継続し、男性からの相談に対しても積極的に対応しながら、相談内容により各種相談機関と連携を取り、相談業務の充実を図る。 更に、調査・研究を行い、嘱託方法を含めた業務内容の検討を行う。	・新潟県内隣接市を含めた主な市の市民相談業務の開設状況調査を実施した。 ・嘱託化を含めた業務内容の検討を行った。 ・昨年10月業務を開始した日本司法支援センター(「法テラス」)新潟地方事務所との情報提供業務との提供を図った。	B	調査を踏まえ、相談業務に対する庁内職員の意識改革と担当職員の事務の軽減を図るため、相談内容により相談する場所がどこかひと目でわかる「相談業務一覧表」等を作成したい。	
17	相談員間の連携の強化	各種相談担当の情報交換会の開催	地域振興課	男女共同参画に関連する相談業務を行っている担当者を集め、情報交換を行い、連携の強化を図る。	県の女性財団と共催した「地域でのDV被害者支援を考える講座」を各種相談業務担当者を対象に12/12開催し、情報交換を図った。	B	今回の講座は女性財団との共催事業で相談員の顔合わせにはなったが、情報交換をする時間が十分に持てなかった。 来年度は、相談員間のネットワークができるような内容にして情報交換会を開催したい。	
18	相談員研修の充実	研修を受ける機会の提供	地域振興課	男女共同参画の視点を持って相談業務にあたってもらうため、男女共同参画に関する研修の情報を提供し、受講してもらう。	・男女共同参画の視点を持って相談業務にあたってもらうため、男女共同参画に関する研修の情報を提供してきたとともに、研修と一緒に受講した。 ・7/28県のDV実務担当者会議に出席 ・2/21県の男女共同参画セミナーに出席	A		